

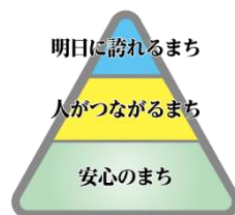
区の目標(何をめざすのか)

「安心のまち、人がつながるまち、明日に誇れるまち」の実現



区の使命(どのような役割を担うのか)

- ・区民の安全・安心を守る防災・防犯などを礎に、活力ある地域社会の実現
- ・地域の見守りなど、誰もが安心して暮らすための健康・福祉の充実
- ・水と緑の豊かな都島区の魅力を発信し、わがまち意識の醸成



令和5年度 区運営の基本的な考え方(区長の方針)

- ・「幸せになれるまち、都島区」の実現をめざします。
- ・「教育力向上区宣言」を通して、教育力の高いまちの実現をめざします。

重点的に取り組む経営課題

経営課題1 安全・安心のまちづくり

課題認識	主な戦略
災害時の備えなど意識と行動が伴うよう、区民に対して、防災・減災の知識を高める啓発活動を進める必要がある。	出前講座等での啓発や、広報誌、SNS等の様々な媒体を活用した情報発信を行うなど区民の防災意識の向上に取り組む。

経営課題2 人と人がつながり、助け合うまちづくり

課題認識	主な戦略
子育てをしている保護者の孤立を防ぎ、子育ての不安感・負担感を軽減するため、地域の子育て情報、ならびに虐待相談を含む相談窓口を周知する必要がある。	子育てに不安を持つ保護者等が気軽に相談できるよう、対面での相談に加え、SNS等を活用した子育て支援を推進する。

経営課題3 明日に誇れるまちづくり

課題認識	主な戦略
学校や家庭だけでなく、地域で子どもを支える場づくりなど、子どもが明るく健やかに成長できるよう、環境を整備する必要がある。また、経済的な理由等で学習面での機会が少ない子どもに対する直接的な支援が必要である。	学校内外で、子どもを支える環境の充実に向けて取り組む。

経営課題4 区役所力の強化

課題認識	主な戦略
行政や地域活動の情報を、読み手視点でわかりやすく、かつ対象に応じた提供が必要である。	すべての区民に行政サービスや地域活動の様子をわかりやすく提供するとともに、読み手視点に立った情報をタイムリーに発信する。



経営課題1 安全・安心のまちづくり



防災のまちづくり

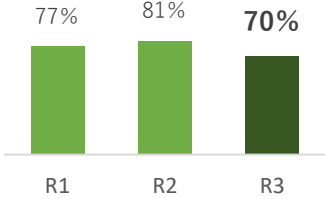
めざす状態

<概ね3～5年間で実現を想定>

区民が自助・共助の役割を認識し、日頃から災害への備えができています

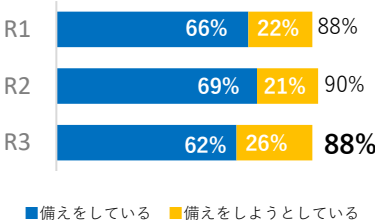
現状 <課題設定の根拠となる現状・データ>

災害が起きた時の動きや避難する場所を知っている区民の割合※



※区民アンケートにおいて「知っている」と回答した区民の割合

災害への備えを意識している区民の割合※



■ 備えをしている ■ 備えをしようとしている

※区民アンケートにおいて「何かひとつでも災害への備えをしている」「備えをしようと思っているが今はまだしていない」と回答した区民の割合

要因分析

<めざすべき将来像と現状に差が生じる要因の分析結果>

- 災害時には、一人ひとりの意識と、日頃からの備え及び避難行動が重要であるが、区民アンケートでは、対象者の約4割が現に災害への備えができていない中、対象者の約2割が「備えをしようと思っているが今はまだしていない」と回答した。防災意識は見られることから、備えを行うための知識やきっかけが少ない可能性がある。

課題 <上記要因を解消するために必要なこと>

- 災害時の備えなど意識と行動が伴うよう、区民に対して、防災・減災の知識を高める啓発活動を進める必要がある。

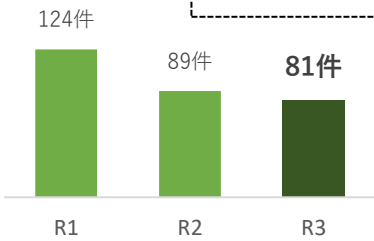
防犯のまちづくり

めざす状態

街頭における犯罪を防止し、犯罪に巻き込まれない安全で安心なまち

現状

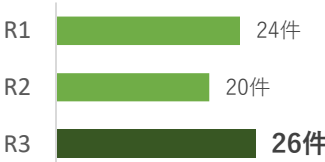
大阪重点犯罪5手口の区内犯罪発生件数



犯罪5手口とは
ひったくり、路上強盗、自動車盗、車上ねらい、部品ねらい

(大阪市犯罪統計資料より)

都島区内の特殊詐欺被害の状況



(大阪府警本部資料より)

要因分析

- 警察や地域と連携した啓発等に取り組むことで、大阪重点犯罪5手口の被害件数が減少しているものの、高齢者等を狙った特殊詐欺の被害件数が増加していることから、特殊詐欺の対象となる層への啓発活動が行き届いていないことが考えられる。

課題

- 警察や地域と連携し、区民の防犯意識の向上に取り組むとともに、犯罪を起こしにくい環境整備にも取り組む必要がある。

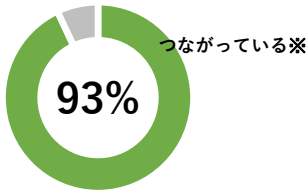
安全で美しいまちづくり

めざす状態

区民の環境美化意識が向上し、違法な客引きや放置自転車、路上喫煙、ポイ捨てごみの減少による美しいまち

現状

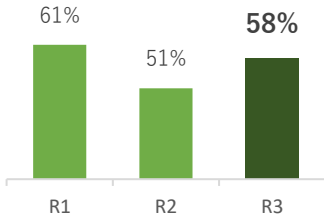
市民協働による啓発等の取組は、区民の環境美化意識の向上につながっていると思う区民の割合※



※3年度区民アンケートにおいて「思う」「どちらかと言えば思う」と回答した区民の割合

- 京橋地域を「路上喫煙禁止地区」に指定(27年2月)

京橋地域の路上喫煙マナーが向上したと感じる区民の割合※



※区民アンケートにおいて「すごく感じる」「ある程度感じる」と回答した区民の割合

要因分析

- 啓発活動による一定の効果が見られるものの、違法な客引き行為や受動喫煙やごみのポイ捨てのほか、放置自転車等により、区民・来街者に不快感などを抱かせている可能性がある。

課題

- 歩行者が安全に通行できる環境を整えるために、市民協働型の啓発による区民等の環境美化意識の向上に取り組む必要がある。

※本運営方針内で「区民の割合」と表記している箇所については、都島区民アンケートにて回答した区民の割合を言う。



経営課題2 人と人がつながり、助け合うまちづくり



コミュニティ豊かなまちづくり

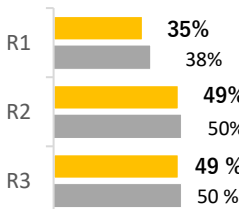
めざす状態

防災、防犯など安心・安全なまちづくりにかかる取組及び地域福祉、子育て支援、地域コミュニティづくりなどその他地域特性に即した地域課題の解決に向けた取組が自律的に進められている状態

現状

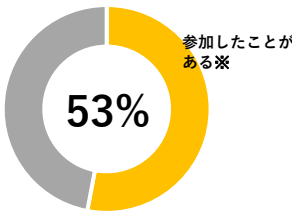
地域活動協議会を知っている区民の割合※

上段：都島区
下段：市平均



※区民アンケートにおいて「知っている」と回答した区民の割合

地域での様々な活動に参加したことがある区民の割合※



※3年度区民アンケートにおいて、防災訓練、ふれあい喫茶、高齢者食事サービス、子育てサロン、子供見守り活動、清掃活動、夏祭り・盆踊りなどの地域活動に参加したことがあると回答した区民の割合。

要因分析

- 個人の生活様式や価値観の多様化、新たな生活様式を求められるなど、人と人とのつながりが依然として希薄である。
- 地域活動等への参加が少ない地域や、地域特性に応じた取組が進んでいない地域がある。

課題

- これまで地域と関わりが少なかった若い世代やマンション住民をはじめ、人と人とのつながる機会を提供が必要である。
- 地域の実情に即したきめ細やかな支援などを行い、より多くの住民参加による自律的な地域運営を推進することが必要である。

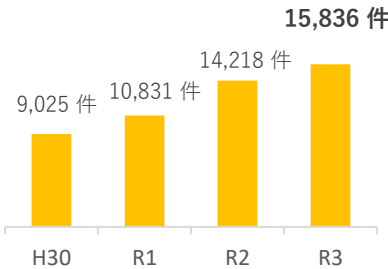
いきいきと健康に暮らせる福祉のまちづくり

めざす状態

- 地域に福祉の身近な相談窓口があり、地域住民がお互いに見守り活動を行うことにより、安心して生活できる状態
- 区民が健康でいきいきと生活することができる状態

現状

地域福祉コーディネーターによる相談・訪問等活動件数



(都島区役所担当課が把握する実績)

要因分析

- 地域コミュニティの希薄化を背景に、福祉課題の「複雑化・多様化・深刻化」が進み、支援につながらず、地域で埋もれている要援護者に対する支援の必要性が大きくなってきている。また、引き続き感染症の影響を踏まえた要援護者への対応も求められている。

課題

- 大阪市地域福祉基本計画の基本目標である「気にかかる・つながる・支えあう地域づくり」をめざしつつ、「複雑化・多様化・深刻化」する課題に対応するため、関係機関等と連携し、必要な支援をコーディネートする体制が必要である。

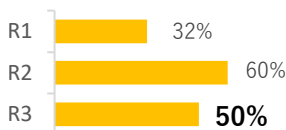
安心して子育てできるまちづくり

めざす状態

- 身近なところに子育てについての相談窓口があり、保護者等がいつでも気兼ねなく利用できる状態

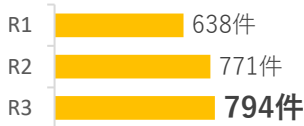
現状

「子育て支援室」を知っている区民の割合※



※区民アンケートにおいて「知っている」「名前だけは知っている」と回答した区民の割合

子育て支援室での相談受付件数



(都島区役所担当課が把握する実績)

要因分析

- 子育て支援室を知らない区民は一定数いるが、子育て支援室での相談受付件数は増加していることから、保護者の不安に寄り添い、相談できる場所への需要が高まっていると言える。
- ライフスタイルの変化によって、対面での相談がしづらいケースがある。

課題

- 子育てをしている保護者の孤立を防ぎ、子育ての不安感・負担感を軽減するため、地域の子育て情報、ならびに虐待相談を含む相談窓口を周知する必要がある。



経営課題 3 明日に誇れるまちづくり



魅力あるまちづくり

めざす状態

毛馬桜之宮公園を中心とした水辺、まちのにぎわいづくりの活動が民間主体により継続的に実施されている状態
区民が区の歴史文化や景観等を美しく魅力ある資源と認識し、区に愛着を持っている状態

現状

区への愛着を感じる区民の割合※

感じる※

91%

※3年度区民アンケートにおいて「感じる」「どちらかといえば感じる」と回答した区民の割合

大阪ふれあいの水辺 利用者数

31,373件

28,334件

30,865件

26,085 件

H30

R1

R2

R3

(大阪府より提供)

要因分析

・ 三方を川に囲まれた都島区の恵まれた自然環境、歴史文化などの資源が、地域の魅力向上や活性化に十分に活かしきれておらず、新たな地域資源の発掘も不十分である。また、区外、区内への情報発信が不足している。

課題

・ 区民が区の魅力を感じるような新たな魅力創出が必要である。

・ 恵まれた地域資源を生かし、区内外から興味をもってもらえるような情報発信が必要である。

未来の都島を担う人材育成

めざす状態

子どもが、明るく健やかに成長していく状態

現状

小中学生へのアンケート

将来の夢や目標を持っていますか

R1

77.2%

R3

74.5%

R4

73.6%

※2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により未実施

「全国学力・学習状況調査」

要因分析

新型コロナウイルス感染症の影響もあり、子どもを取り巻く状況は厳しいものとなっている。将来の夢や目標を持つことのできるような、学びや遊びを通じた子どもの成長の機会が失われている。

課題

学校や家庭だけでなく、地域で子どもを支える場づくりなど、子どもが明るく健やかに成長できるよう、環境を整備する必要がある。

経済的な理由等で学習面での機会が少ない子どもに対する直接的な支援が必要である。

経営課題4 区役所力の強化

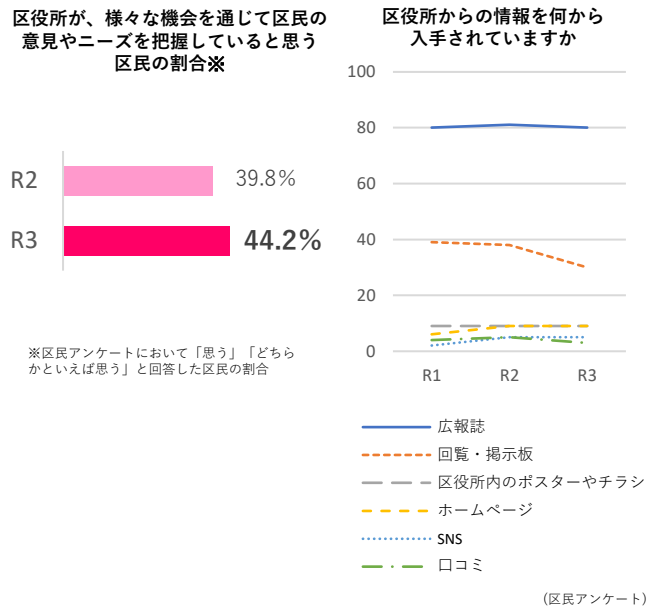


区民の声が区政に反映される
仕組みづくり

めざす状態

- 区民の意見やニーズを的確に把握し、関係局等と連携するなど、市政の総合拠点としての役割を担いつつ、施策・事業を展開できている状態
- 区民に、区政運営等の情報が届き、区政への関心が高まっている状態

現状



要因分析

- インターネットやご意見箱等、様々な方法で区民の声を受け付けているが、行政へのアプローチに至らない、表面化しにくい意見を把握できていない可能性がある。
- 広報誌は、区政情報取得の手段として定着しているが、対象や発信する内容に応じて、ホームページやSNSの利用を高める必要がある。

課題

- 区民の意見やニーズの的確な把握と、それを区政に活かすための仕組みが必要である。
- 行政や地域活動の情報を、読み手視点でわかりやすく、かつ対象に応じた提供が必要である。

区民が満足・納得できる
区役所運営

めざす状態

区役所来庁者等に対する窓口サービスを向上させ、24区中トップレベルのサービスを実現している状態
区役所の業務が効果的・効率的に運営されるような様々な取組が進められており、その取組が評価されている状態

現状

来庁者等に対する
サービスの格付け結果

H30	★★☆	3.5
R1	★★☆	3.5
R2	★★☆	3.5
R3	★☆☆	3.2
R4	★★☆	3.8

- ★3つ 全国に誇れる極めて高度なレベル(4.5～5.0)
- ★2つ 民間の窓口サービスの平均的なレベルを上回るレベル(3.5～4.4)
- ★1つ 民間の窓口サービスの平均的なレベル(3.0～3.4)

(各区役所の来庁者等に対する窓口サービスについて民間の事業者による覆面調査)

要因分析

- 4年度は前年度の格付け結果と比べて区評価点が大幅に上昇し、窓口単位でも、4課全てで評価点が上昇した。
- 格付け結果については、外部講師による接遇研修をはじめ、各課横断の職員による「カイゼンチーム」で進めてきた区民サービス向上に向けた取組の成果が反映されたと考えられる。

課題

- 前年度に比べて格付け結果の評価点は上昇しているが、市平均では下回る課もあるため、職員全体の接遇力の底上げに向けて、効果的な接遇研修の実施やカイゼンチームによる継続的な取組を進めていく必要がある。